

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	日頃から、施設として地域の活動には積極的に可能な限り参加しているが、ご入居者様お一人おひとりが地域とつながり、地域の一員として日常的に交流しているとまではいえない。	入居者様が、世代を問わず様々な地域の方と交流する機会を持ち、地域の一員としていきいきと暮らすことができる。	まずは、施設内の活用されていないスペースの整備を行う。そのスペースを地域の交流スペースへと転換。地域の方にグループホーム桂枝苑には地域の方が利用できる交流スペースがあるということを知っていただく。	6ヶ月
2	20	認知症グループホームという施設の特徴として、これまで自宅での暮らしで馴染みのあったヘルパーさんや、デイサービスの職員さん、ケアマネさん、近所の方々といった人との関係が急に途切れてしまう。	施設に入ることにより、これまでの暮らしの中で築かれた、馴染みの人や、馴染みの場所が急に失われ、寂しい思いをしないように、これまでの人間関係や馴染みの場所との関わりをできる限り継続できる。	上記と同様となりますが、交流スペースを設け、馴染みの方が気軽に訪れやすい、開かれた施設とする。また、ご入居者様全員が同じ場所に出かける外出ではなく、お一人おひとりが馴染みの場所へ出かけることができる個別の外出支援を実施する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議へは、地域住民の方や、地域包括支援センターの職員の参加はあるが、ご家族様の参加が少ない状況が続いている。ご家族様からの意見が施設運営に反映していないのではないか、	運営推進会議へのご家族様の参加が増え、意見をしっかりと伺いする機会を増やす。それにより、ご家族様の思いもしっかりと反映された施設運営に繋げていく。	運営推進会議を施設の状況報告やご家族様等からの意見をお伺いする場としての機能以外に、毎回テーマを決めてご家族様や地域の方へ有意な情報を発信する場として、興味をもってご参加いただけるような取り組みを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。